

分野名：高齢者教育

岡垣町公民館講座における高齢者教育

「自分磨き」と「社会貢献」

岡垣町中央公民館【公立公民館】

公民館係 主任 北園美樹 社会教育指導員 中元昭広

1. 事業名

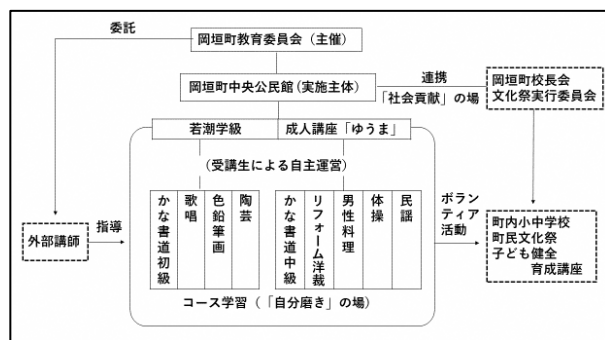
「若潮学級」・成人講座「ゆうま」

2. 事業の目的

- ・教養の向上、健康の増進、情緒の涵養などを図り、生活を豊かにする。
- ・ボランティア活動やコミュニティづくりに積極的に関与する人材を育成する。

3. 事業の主体

主催は岡垣町教育委員会で、実施主体が岡垣町中央公民館（生涯学習課公民館係）である。講座の企画・運営は講座担当職員と社会教育指導員が行っており、講座講師は教育委員会が委託した外部講師である。専門コースの学習は受講者の自主運営を基本としている。また、ボランティア活動については、町内校長会や文化祭実行委員会など外部の関係団体と連携しながら行っている。



定例講座「若潮学級」・成人講座「ゆうま」関係図

※この他に2つの定例講座、4つのスポット講座を実施

4. 連携・協力機関・団体等

岡垣町校長会、文化祭実行委員会

5. 事業予算

1,565,000 円（令和元年度）

6. 実施に至る経緯

岡垣町教育委員会では、「若潮学級」と成人講座「ゆうま」という2つの定例講座を柱とした公民館講座を開設している。「若潮学級」は、昭和51年に福岡県主催で開設された老人大学講座を岡垣町が引き継いで、昭和56年度に岡垣町教育委員会主催の公民館講座として開設した。

成人講座「ゆうま」は、若潮学級を卒業した方がステップアップを図るために専門コースを学ぶ講座として平成9年度に開設した。これらの講座は共に「自己の生きがい作り」（自分磨き）を主目的として始まったが、学校週5日制の実施に伴い「学習機会の提供」のみならず「学習の成果を活かしたボランティア活動」（社会

貢献)を加えた。

これは、「超高齢化社会における生涯学習の在り方」に合致するものであり、高齢者教育として位置付けることができる。

なお、令和3年度より2つの講座を統合し、文化ボランティア養成講座「わかしお」として実施している。

7. プログラム作成(講座開設)の視点

- ・「自分磨き」と「社会貢献」を講座の目的とし、公民館講座はその「きっかけづくり」である。
- ・「社会貢献」を入れることで、他の施設でおこなわれている一般的な文化講座との違いを明確にする。
- ・「芸術領域」「健康領域」「生活技術領域」から講座を開設する。3つの領域が網羅されるよう構成する。(自分磨き)
- ・現代的な課題に対応する知識やスキルを身につけるために教養講座(講演会)を開催する。(自分磨き)
- ・ボランティア活動が実践できる場を設定する。(社会貢献)

8. 事業の内容(令和元年度「若潮学級」・成人講座「ゆうま」)

(1) 自分磨き

○専門コースの学習

全9コース(かな書道初級・歌唱・色鉛筆画・陶芸・かな書道中級・リフォーム洋裁・男性料理・体操・民謡)に173人が受講した。平均年齢は74歳、約80%が女性であった。年間実施回数は16回で、その中には町民文化祭での発表も含まれている。各コースの学習プログラムは講師が作成し、徐々にレベルアップしたり季節的な要素を取り入れたり、高齢者が無理なく取り組めたりするなどの工夫がなされている。

受講者は、講座で学んだことを家庭で実践したり日常生活に生かしたりしている。例えば、男性料理の受講者は学んだ料理を家で作り家族に振舞い、また、リフォーム洋裁の受講者は作った作品を日常生活で使っている。このように、受講者は専門コースの学習をとおして、知識や技能を磨き生活を楽しく豊かにしている。



男性料理コース(ぎょうざ作り)

○教養講座

現代的な課題に対応する知識やスキルを身につけるために教養講座(講演会)を実施した。「脳活によいことば遊び」「お笑い防犯講座」「認知症について+脳トレ」など、受講者の年齢を考慮した内容の他、「現代のアフリカを知る」「スクリーンの中の男と女(男女共同参画)」「岡垣町のまちづくり」など、現代的課題・時事的課題を織り交ぜた内容の教養講座を計11回実施した。

(2) 社会貢献

○学校支援ボランティア

小学校の習字学習支援の要請に応じて「学校支援ボランティア」を実施した。3年生の各クラスに3名程度のボランティアを配置し担任の指導補助を行った。担任

からは「子ども一人一人に指導が行き渡った」、子どもからは「丁寧に教えてもらい楽しく学習できた」、参加したボランティアからは「元気がもらえた」という声が聞かれた。

○子ども健全育成講座

夏休みに7講座、冬休み前に2講座実施した。どの講座にもたくさんの受講生がボランティアとして参加し、指導の補助をするなど子どもたちと楽しく交流をおこなった。参加したボランティアからは「子どもと接しエネルギーをもらった」という声が多く聞かれた。また、子どもたちからも「楽しくできた」「話すのが楽しかった」という声が多く聞かれ、ちょっとした世代間交流にもなっていた。



絞り染め教室でのボランティア

○町民文化祭

町民文化祭は毎年11月に行われている。講座受講者は文化祭実行委員会への出席（代表者）、会場設営・撤収、そして、ステージ発表・作品展示という形で参加している。町民文化祭に参加することをおして、受講者に町づくり・賑わいづくりに貢献しているという思いを持ってもらう。

9. 事業の成果

- 出席率も高く、また、講座内容や講師などに対しても高い評価をいただいております。受講者にとって充実した講座になっている。
- 講座終了時のアンケート結果を見ると、「仲間づくりができた」「知識や技能が向上した」「生活へ生かすことができた」と回答した方が非常に多く、「自分磨き」という目的は達成できている
- 講座修了者による自主サークルがいくつか立ち上がっており、公民館講座がそのきっかけづくりになっている。

10. 今後の課題

- リピーターが多く新規の受講者が少ない。より多くの町民が受講できるよう毎年少しずつ専門コースを入れ替えていく必要がある。
- 受講者のほとんどは「自分磨き」の目的で受講している。「社会貢献」にどうつながっていくかが課題である。ボランティア参加者の声などをフィードバックして意味づけをしたり、社会貢献の場を拡充したりする必要がある。特に、コミュニティスクールの設置が努力義務となった今、学校との結びつきを強化する必要がある。

11. 問合せ先

〒811-4242 福岡県遠賀郡岡垣町吉木西1丁目1番1号
岡垣町中央公民館
TEL:093-282-0162 FAX:093-282-3330
E-mail:komin@town.okagaki.lg.jp